看護キャリア開発センター

年間報告

特定行為研修の円滑な運営

和歌山県内看護師等のキャリア支援



R4 4月 9月

R5

9月

地域医療コース8期生 特定行為研修受講中

8期生8名がR4年4月からR5年3月までに、 共通科目研修を修了しました。R6年4月から は、編入生1名が加わり、計9名が区分別科 目研修の受講を開始しています。

地域医療コース7期生・急性期医療コース2期生

地域医療コース(研修期間1年6ヵ月) 7期生13名、院内向けの急性期医療コー ス(研修期間1年)2期生2名が無事修 了式を迎えることができました。現在、修了 者として活躍されていることを願います。



地域医療コース9期生 決定

R6年度から研修がスタート する9期生は、受講審査の 結果10名の受講者が 決定しました。

ONLINE オープンキャンパス



R5

9月

R6

3月

特定行為研修の受講をご検討中の看護師や管理 者向けに、本学看護師特定行為研修を紹介するため に実施し、10名の参加がありました。参加者の中には、 9期生として応募し、受講に至った方もいます。



厚生労働省の指導者育成事業に採択を受け、オン ライン形式で実施し、全国各地から42名の参加があり ました。院内外から講師を招き、グループディスカッション のファシリテータには、附属病院の認定看護師の皆さん にご協力いただきました。活発に意見交換でき、参加 者から高評価を得ることができました。

フォローアップ研修

R5

12月



特定行為研修を修了し た院内外の23名の修了 者同士が、活動状況など の情報を共有する機会と なりました。

県内の看護職にキャリアに応じて選択できる研修機会を提供

R5.11月~ R6.1月

オンライン 研修

附属病院の専門看護師・認定看 護師の協力を得て、研修動画をオ ンデマンド形式で配信しました。

テーマ	申込人数
脳卒中患者の観察ポイントと その看護	133名
いちから学ぶ 認知症者に 必要な看護	132名
正しいスキンケアで皮膚障害を 予防しよう	144名

視聴者のアンケートでは、看護の ポイントを理解し、実践に活かしてい きたいという感想が多数ありました。



各コース別に 日程記載

看護師受け入れ研修

R5

10月



県内で働いている看護職を対象に、附属病院の認 定看護師・専門看護師による「受け入れ研修」を実施 しました。

コース	日程	参加数
感染管理ベーシック	R5.9月・10月(3日間)	5名
感染管理アドバンス	R6.1月・2月(4日間)	6名
「何かおかしい」に気づく 状態変化時の初期対応	R5.11月・12月(半日)	14名
がん看護ベーシック	R6.1月(1.5日)	3名

手術看護「出張看護相談」は、手術看護認定看護 師が、応募があった2施設に対して、それぞれR6年1 月、2月(各1日)に実施しました。

参加者からは、自施設の問題解決になる糸口を得 ることができたという反応がみられました。

第1弾 R5.9月 第2弾 10月 第3弾 R6.1月





附属病院の職員を対象に、テーマ毎にゲス トスピーカーを迎え、経験談を語っていただきま した。

テーマ	参加数
第1弾 専門性を高めるために	21名
第2弾 看護管理者としてのキャリアを考える	19名
第3弾 育児中のキャリアについえ考える	10名

参加者は、今後のキャリアを考えるためのと ントを得られたようでした。

保健看護学部学生のキャリア支援

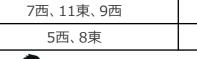
R6 1月or2月

附属病院における ジョブシャドウイング

保健看護学部・附属病院と連 携し、学生のキャリア支援を目的 に実施しました。3日間で、看護 師長、リーダー看護師、PNSペア についてシャドウイングし、就職に 対する前向きなイメージができた ようでした。

協力病棟







学生さんからの感想



"病棟の雰囲気が良く、就職後の不安が減った" "看護師長やリーダーの役割を知らなかったが、 参加して理解できた"

発行:看護キャリア開発センター 内線:3276 担当:西